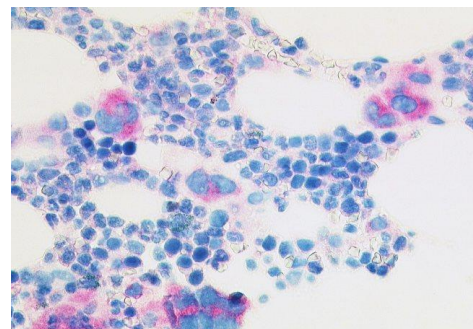
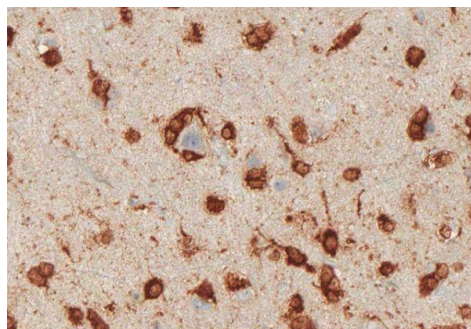
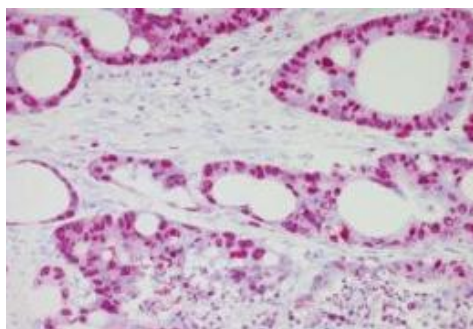
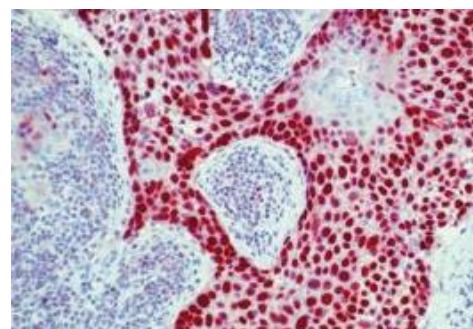
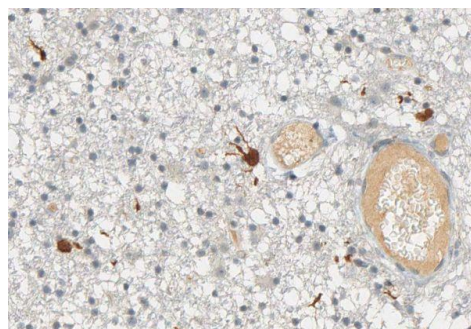
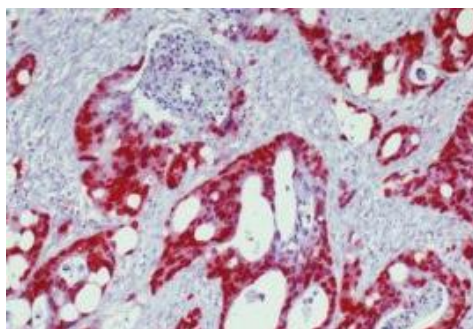
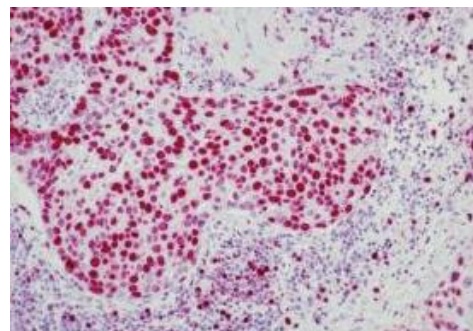
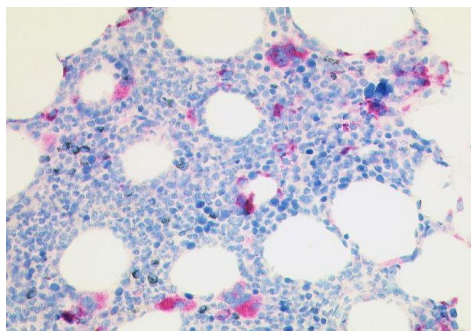
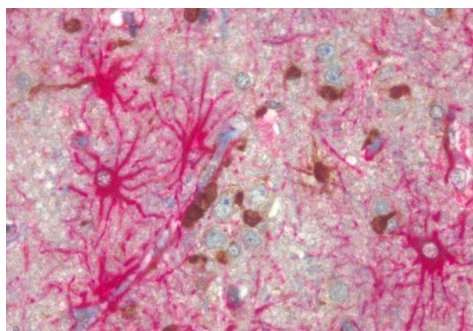
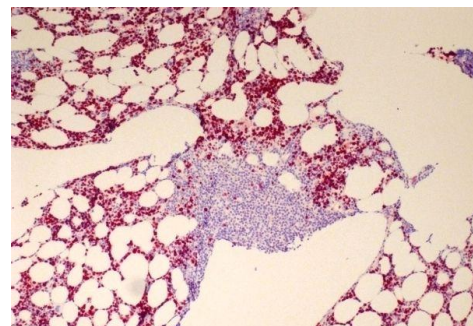
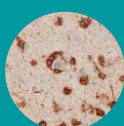




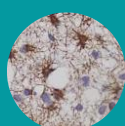
IHC検証済み 病理学研究用抗体



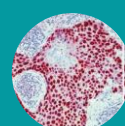
Dianovaでは、病理学分野に焦点を当てた製品をラインナップしています。



IDH1 R132H



GFAP



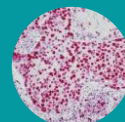
Ki-67



IDH1



カルレティキュリン変異



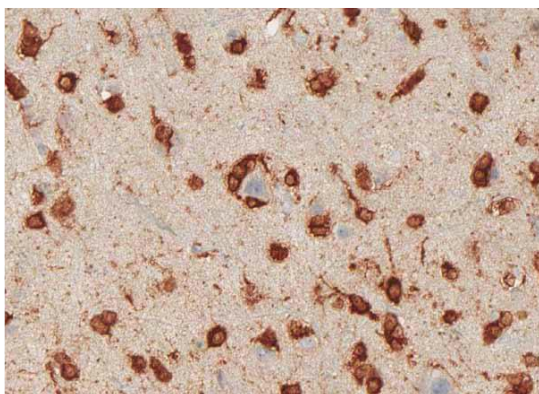
p53

品番：DIA-H09

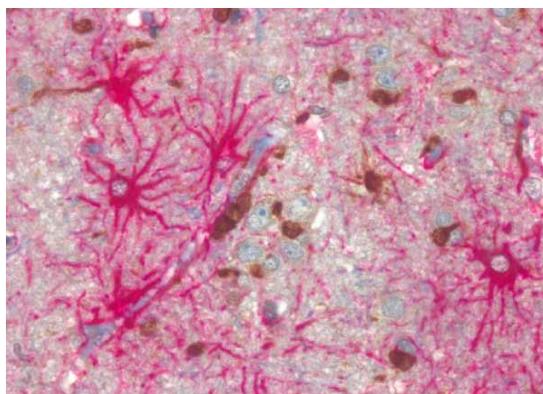
星状細胞腫および乏突起膠腫の脳腫瘍マーカー Anti-IDH1^{R132H}抗体（クローン H09）

抗IDH1R132H（クローンH09）は、星状細胞腫および乏突起膠腫細胞と選択的に反応し、非腫瘍性星状細胞および反応性神経膠症との識別を可能にします。

また、原発性神経膠芽腫からの退形成性星状細胞腫や、毛様細胞性星状細胞腫または上衣腫からのびまん性星状細胞腫グレードIIなど、さまざまな脳腫瘍の識別にも適しています。



▲ 抗体クローンH09による腫瘍細胞の選択的標識を伴う乏突起膠腫が浸潤した皮質

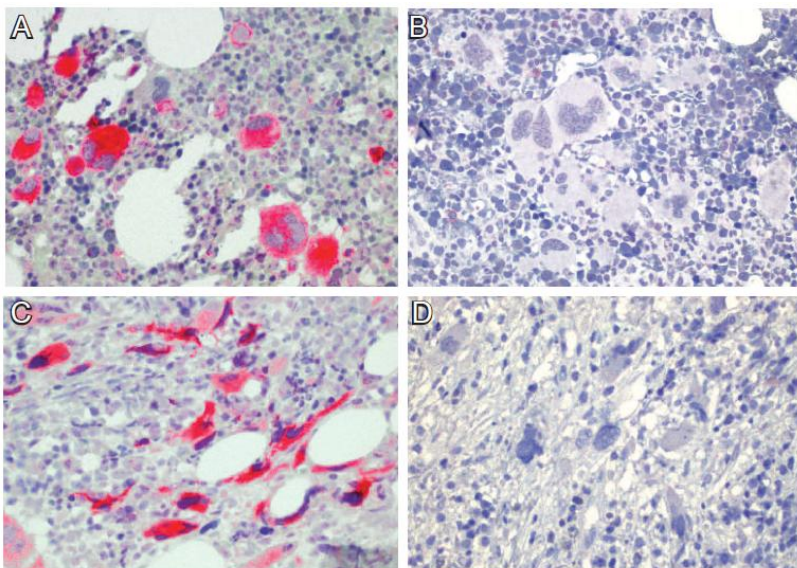


▲ 乏突起膠腫腫瘍縁のGFAP/IDH1 R132H二重染色
茶色（腫瘍細胞）：抗IDH1R132H（クローンH09）で選択的に標識
赤色（非腫瘍性星状細胞）：抗GFAP（クローンIF3など）で標識

品番：DIA-CAL

MPNのすべてのタイプのCALR変異を検出するためのモノクローナル抗体 抗変異カルレチキュリン抗体（クローンCAL2）

骨髓増殖性腫瘍で検出されたカルレチキュリン変異では、新たなC末端を生成されています。本製品は、この領域の共通のエピトープをターゲットにしているため、すべてのCALR変異を検出します。CALR変異は、変異していないJAK2またはMPLを伴うETの67%およびPMF症例の88%で検出可能です。本製品により、CALR変異型本態性血小板血症および原発性骨髓線維症と真性多血症および反応性骨髓変化を確実に区別することができます。



◀ 原発性骨髓線維症（PMF）のさまざまな症例の免疫組織化学的染色

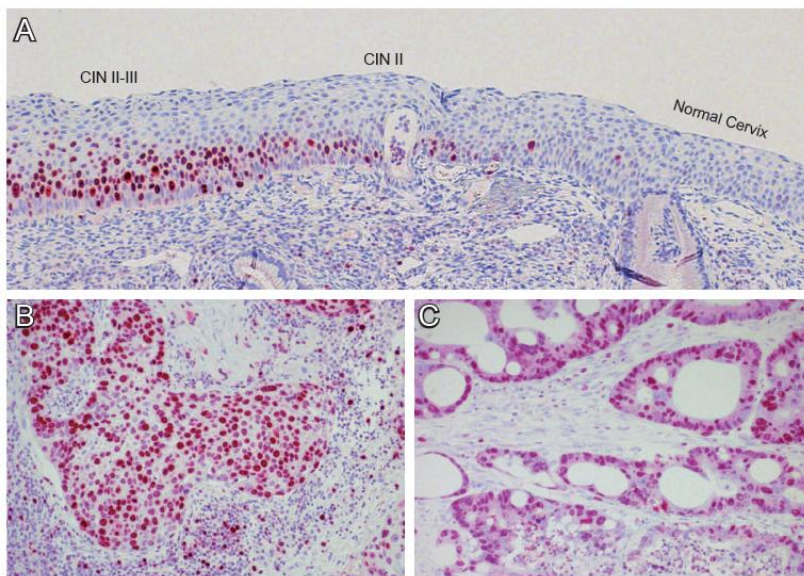
（A）前線維化期 （C）線維化期
2つのPMF症例の巨核球における変異CALRタンパク質の選択的染色。CALR変異は、サンガーシーケンシングによって確認されました。

（B）線維化前段階のPMF （D）線維化段階のPMF
本製品は、CALR変異状態が陰性の症例を染色しませんでした（サンガーシーケンシングで確認）。

品番：DIA-670

細胞腫瘍増殖のリファレンスマーカー 抗Ki-67抗体（クローンKi-67P）

Ki-67抗原に対する抗体は、細胞周期のすべての段階（後期G1、S、M、およびG2期）で活発に分裂している細胞を識別しますが、G0期の細胞は認識しません。診断組織病理学では、Ki-67は固形腫瘍および血液悪性腫瘍の細胞増殖のマーカーとして使用されてきました。組織病理学的グレードとKi-67インデックスの相関関係は、多くの腫瘍で実証されています。



◀ Ki-67免疫染色

（A）子宮頸部

正常な子宮頸部上皮は、CINIIおよびCINII-IIIのある領域とは対照的に、Ki-67陰性です。

（B）頸部の扁平上皮がん

ほぼすべての腫瘍細胞が増殖しており、癌腫が急速に分裂していることを示しています。

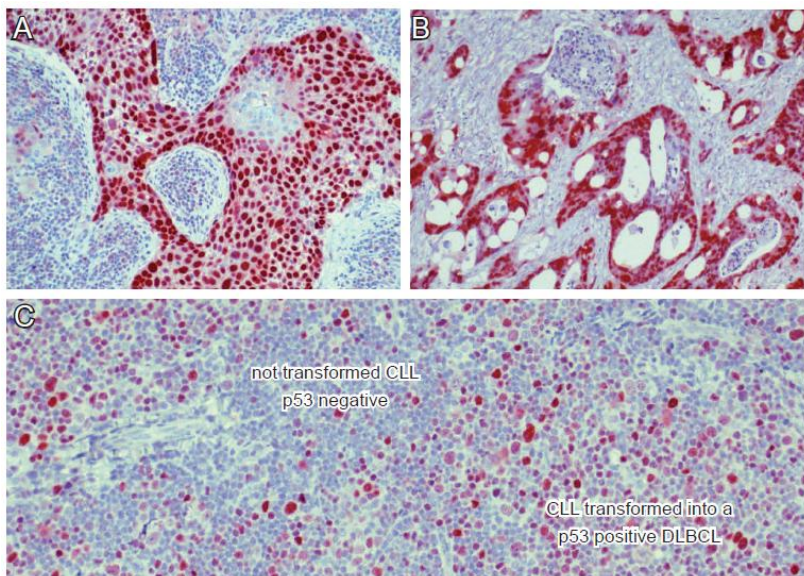
（C）結腸癌

ほとんどの腫瘍細胞は増殖中であり、急速に成長している癌腫を示しています。

品番：DIA-530

ヒト腫瘍の悪性形質転換における最も一般的な遺伝的異常のマーカー 抗p53抗体（クローンCC53）

ヒトのがんの50%以上には、p53腫瘍抑制遺伝子に変異が含まれています。p53遺伝子の多くの変異は、多種多様なヒト腫瘍における悪性形質転換に関連していることがわかっています。



◀ p53免疫染色

（A）頸部の扁平上皮がん

ほぼすべての腫瘍細胞では、核内で強く陽性です。このp53の発現増加は、腫瘍抑制機能の喪失を示しています。これにより発がん性の遺伝子変化を伴う細胞の生存が可能になります。

（B）結腸癌。

ほぼすべての腫瘍細胞では、核内でp53陽性です。このp53の発現増加は、発がん性の遺伝子変化を伴う細胞の生存を可能にする腫瘍抑制機能の喪失を示しています。

（C）びまん性大細胞型B細胞リンパ腫（DLBCL）に変化した慢性リンパ性白血病（CLL）=リッター症候群

形質転換されていないCLL領域はp53陰性ですが、形質転換されたDLBCL細胞のほとんどはp53陽性です。このp53の発現増加は、形質転換が、発がん性の遺伝子変化を伴う細胞の生存を可能にするTP53腫瘍抑制機能の喪失に関連していることを示唆しています。

製品ラインナップ



特異性
クローン
ホスト/アイソタイプ
アプリケーション
IHC検出

IDH1 R132H
H09
マウス/IgG2A
IHC-P, WB
1:20



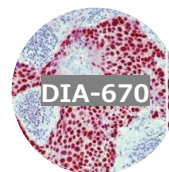
特異性
クローン
ホスト/アイソタイプ
アプリケーション
IHC検出

カルレチキュリン変異
CAL2
マウス/IgG2a
IHC-P, WB
1:20-1:40



特異性
クローン
ホスト/アイソタイプ
アプリケーション
IHC検出

IDH1
W09
ラット/igG2A
IHC-P, WB
1:20



特異性
クローン
ホスト/アイソタイプ
アプリケーション
IHC検出

ヒトKi-67
Ki-67P
マウス/IgG1
IHC-P
1:100-1:200



特異性
クローン
ホスト/アイソタイプ
アプリケーション
IHC検出

GFAP
IF3
マウス/IgG1
IHC-P, WB
1:160-1:320



特異性
クローン
ホスト/アイソタイプ
アプリケーション
IHC検出

ヒトp53
CC53
マウス/IgG1
IHC-P
1:100-1:200

品名	容量	品番
星状細胞腫および乏突起膠腫の脳腫瘍マーカー		
Anti-IDH1 R132H (Hu) from Mouse (H09) - unconj.	100μl	DIA-H09-M
	500μl	DIA-H09
Anti-IDH1 R132H (Hu) from Mouse (H09) - unconj. - prediluted RTU	8ml	DIA-H09-L
コントロール (野生型IDH1検出) Anti-IDH1 (Hu) from Rat (W09) - unconj.	500μl	DIA-W09
関連製品 Anti-GFAP (Hu) from Mouse (Clone: IF3) - unconj.	500μl	DIA-700-P05
MPNのすべてのタイプのCALR変異を検出するためのモノクローナル抗体		
Anti-mutated Calreticulin / CALR (Hu) from Mouse (CAL2) - unconj.	100μl	DIA-CAL-100
Anti-mutated Calreticulin / CALR (Hu) from Mouse (CAL2) - unconj.	250μl	DIA-CAL-250
細胞腫瘍増殖のリファレンスマーカー		
Anti-Ki-67/MIB1 (Hu) from Mouse (Clone: Ki-67P) - unconj.	500μl	DIA-670-P05
Anti-Ki-67/MIB1 (Hu) from Mouse (Clone: Ki-67P) - unconj.	1ml	DIA-670-P1
ヒト腫瘍の悪性形質転換における最も一般的な遺伝的異常のマーカー		
Anti-p53 (Hu) from Mouse (Clone: CC53) - unconj.	500μl	DIA-530-P05

本キットは、研究用として販売しております。ヒト、動物への医療・臨床診断用には使用しない様にご注意ください。また、食品・化粧品・家庭用品などとして使用しないでください。無断で承認を得ず、製品の再販・譲渡、再販・譲渡のための改変、商用製品の製造に使用することは禁止されています。

フィルジェン 株式会社



【お問い合わせ】 試薬機器部

TEL : 052-624-4388 FAX : 052-624-4389

E-mail : support@filgen.jp URL : https://filgen.jp/

代理店

(Jul.2026)